



2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年11月18日





目次

1. 会社概要	P. 4
2. 連結決算概要	P. 7
3. 業績予想	P. 8
4. 中期経営計画	P. 10
5. セグメント別の業績	P. 11
6. 注力事業	P. 17
7. 配当・自己株式取得	P. 19
8. 役員報酬制度の改定	P. 21

本日のサマリー

1. 第2四半期決算概要
売上高、営業・経常・四半期純利益とも増収増益
2. 通期予想は、売上高は8年ぶりに1,500億円
当期純利益は20億円
3. 中期経営計画（最終年度）の数値目標である
当期純利益25億円は未達の見込み
4. 注力事業として、
セパレーターフィルム製造設備商談の
最新の状況についてご説明致します。
5. 自己株式取得継続中、配当性向35%を目途
6. 役員報酬体系を見直し 中長期の業績を強く意識



会社概要（その1）

- 社名 : 西華産業株式会社
- 設立 : 1947年10月1日
- 代表者 : 代表取締役社長 薦田和隆
- 資本金 : 67億2800万円
- 売上高 : 1271億100万円(2016年3月期連結)
- 従業員数 : 連結802名、単体312名(2016年9月末現在)
- 主要株主 : 三菱日立パワーシステムズ、三菱東京UFJ銀行、
山口銀行、日機装、三菱電機他
- 主要取引銀行 : 三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、山口銀行、福岡銀行
- 事業内容 : 各種プラント及び補機類、機械装置、環境保全設備、
電子情報システム類の販売及び輸出入

会社概要（その2）

西華産業とは、

1. 1947年10月 福岡県門司市にて会社設立
2017年10月で**創立70周年**を迎える



2. 社名の由来

『西』の花形 → 西日本の花形企業を目指す。

商道の精『華』 → 商いの本質を極める。

自分も儲けるが相手にも便宜を与える。

『華』 → 将来、中国貿易が盛んになった時に
役立つことを期待。



会社概要（その3）

3. 国内外にグローバル展開する機械総合商社

国内の関係会社：10社

海外の関係会社：17社

4. 専門性とスピード感を重視する事業所管組織

電力、化学・エネルギー、産業機械、

素材・計測、グローバルの5つの事業を

国内外で展開



2017年3月期 第2四半期 連結決算概要

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	前年同期比 差額	増減率
売上高	百万円 62,994	百万円 86,177	百万円 23,183	36.8%
営業利益	百万円 687	百万円 1,831	百万円 1,144	166.4%
経常利益	百万円 723	百万円 1,869	百万円 1,146	158.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	百万円 796	百万円 1,176	百万円 380	47.7%



2017年3月期 連結決算予想

	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	前期比 差額	増減率
売上高	百万円 127,101	百万円 150,000	百万円 22,899	18.0%
営業利益	百万円 2,174	百万円 3,200	百万円 1,026	47.2%
経常利益	百万円 2,426	百万円 3,300	百万円 874	36.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円 1,750	百万円 2,000	百万円 250	14.2%

業績予想 / 中期経営計画数値との比較

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
売上高 (連結)	中計指標 / 実績 1,400 / 1,320 億円	中計指標 / 実績 1,500 / 1,271 億円	中計指標 / 予想 1,600 / 1,500 億円
営業利益 (連結)	中計指標 / 実績 30.0 / 34.0 億円	中計指標 / 実績 33.0 / 21.7 億円	中計指標 / 予想 38.0 / 32.0 億円
当期純利益 (連結)	中計目標 / 実績 18.0 / 21.8 億円	中計目標 / 実績 21.0 / 17.5 億円	中計目標 / 予想 25.0 / 20.0 億円

中期経営計画CS2017による新事業

事業領域の多様化

名南共同エネルギー

蒸気と電気の
エネルギー供給事業



発電プラント
完成予想図



Seika YKC (Thailand)

タイでのプリント基板
製造・販売事業



タイ
プリント
基板工場



敷島機器

北海道地区での船用・陸用
エンジン等の取り扱い



敷島機器
本社建物



船用
エンジン

今後の事業投資

当社グループとのシナジー効果が期待できる**商社やメーカーのM&A**や、**共同事業**の展開を模索して参ります。

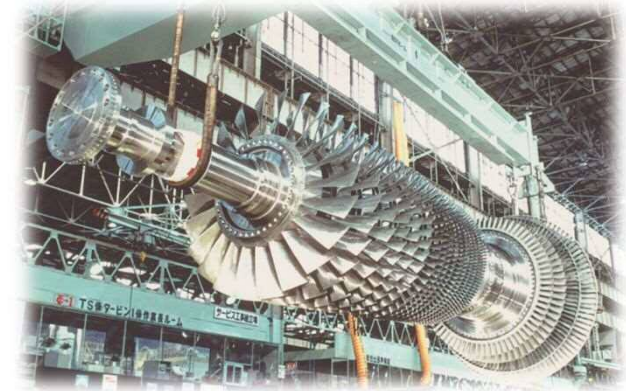
2017年3月期第2四半期セグメント別業績

(単位:百万円)

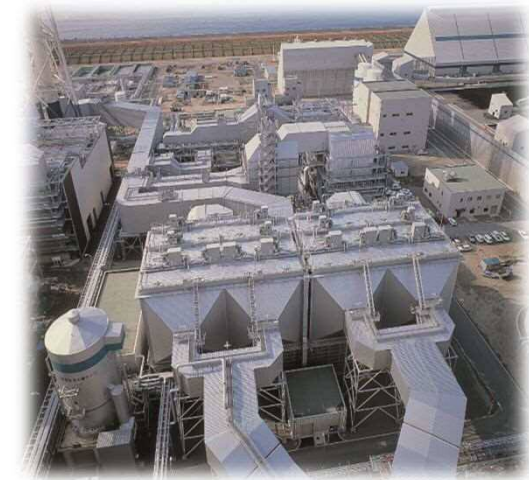
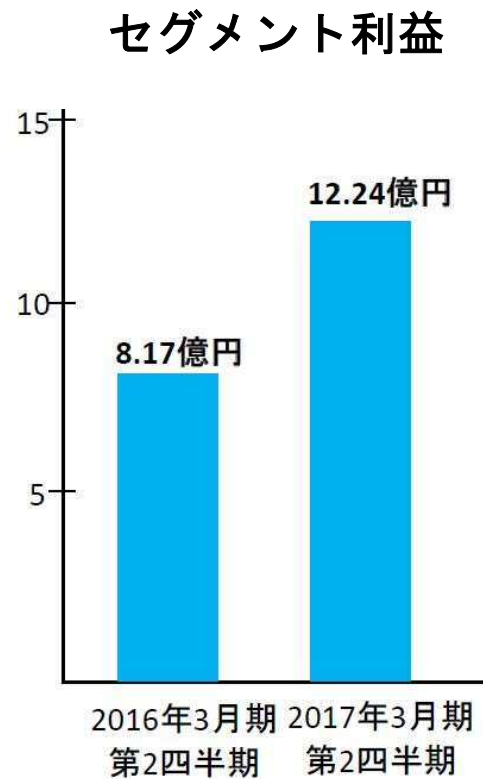
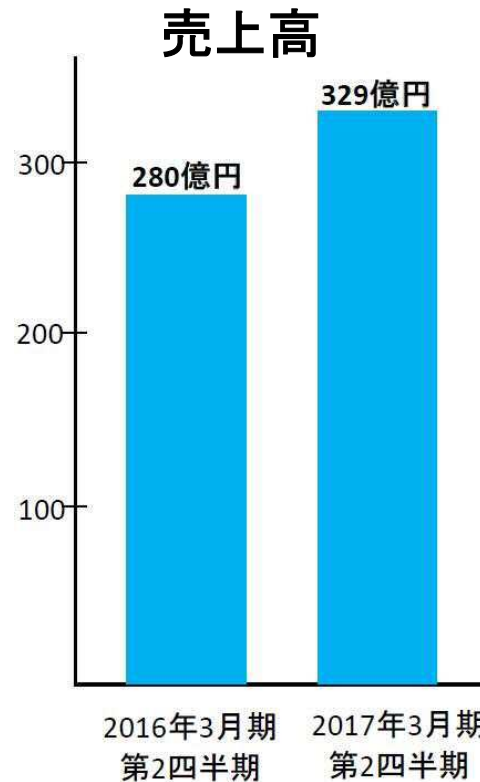
セグメント	売上高	増減率	セグメント利益	増減率
電力事業	32,965	+ 17.7%	1,224	+ 49.8%
化学・エネルギー事業	22,602	+ 64.9%	725	+ 282.7%
産業機械事業	24,517	+ 86.7%	698	+ 106.5%
素材・計測事業	1,230	△ 19.7%	△179	△ 33.9%
グローバル事業	4,861	△ 26.5%	142	+ 26.6%
合計	86,177	+36.8%	2,610	+97.3%

電力事業

1. 電力会社向け発電設備用部品および修繕工事の受渡が増加。
2. セグメント利益は前年同期より4.07億円の増加。
3. 電力会社の域外進出が活発化。
→新設案件の受注獲得を目指す。



ガスタービン



電気集塵機

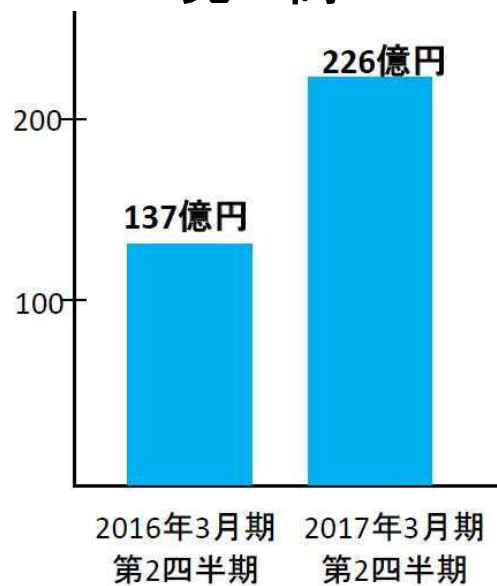
化学・エネルギー事業

1. 製紙会社向け新設発電設備の受渡が業績に寄与。
2. 2016年3月末に子会社化した敷島機器の業績が第2四半期から新たに反映。
3. セグメント利益は前年同期より5.36億円増加。
4. 工場の生産設備等が海外移転→グローバルに営業展開中。



化学プラント

売上高

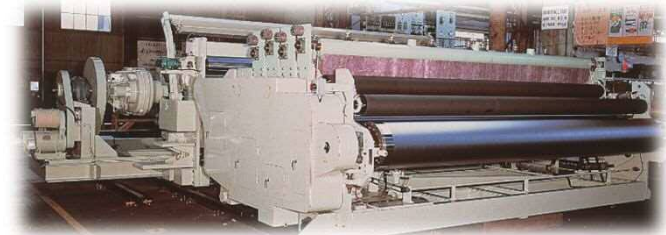


セグメント利益



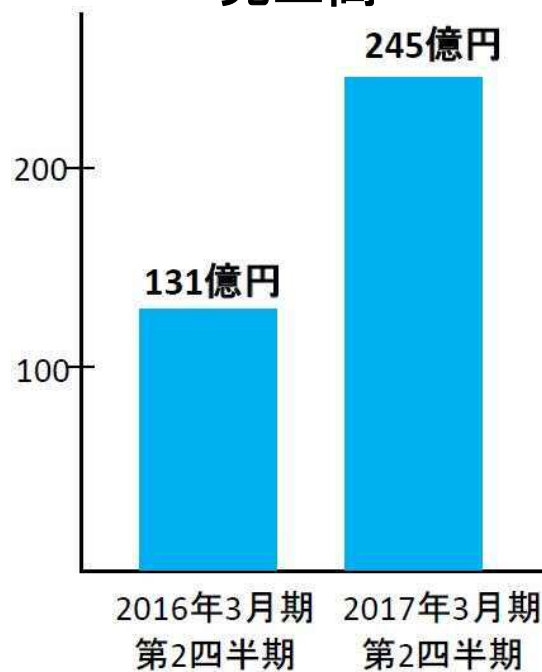
産業機械事業

1. セパレーターフィルム製造設備や海外プラント向け機器等の受渡が業績に寄与。
2. セグメント利益は前年同期より3.60億円増加。

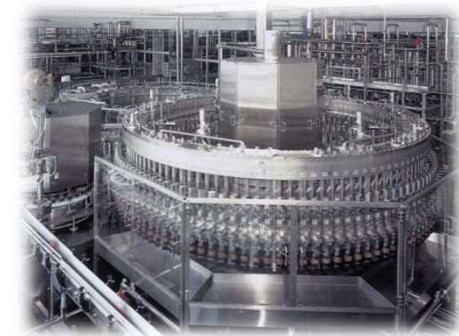


フィルム製造設備

売上高



セグメント利益



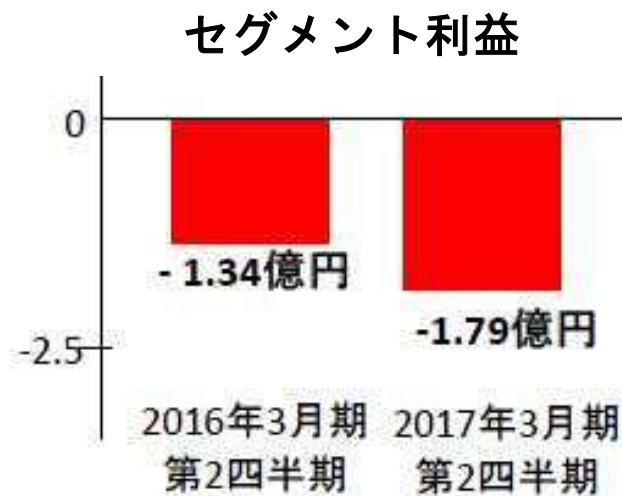
飲料充填設備

素材・計測事業

1. 計測機器や子会社の映像関係機器の受渡が減少。
2. 子会社のエヌ・エス・テックと西華デジタルイメージが苦戦を強いられた。



LaserGas™
neomonitors.com
レーザーガスモニター



プリント基板

グローバル事業

1. 中国向け繊維原料材の受渡が減少。
2. 欧米子会社の業績は堅調。
3. Seika Sangyo (Thailand) が第1四半期から連結対象。
4. 日本ダイヤバルブ（連結子会社）の子会社である天津泰雅閥門が第2四半期から連結対象。
5. セグメント利益は前年同期より0.30億円増加。



基板検査装置

水中ポンプ

売上高



セグメント利益



自動車用部品製造設備

リチウムイオンバッテリー用 セパレーターフィルム製造設備（その1）

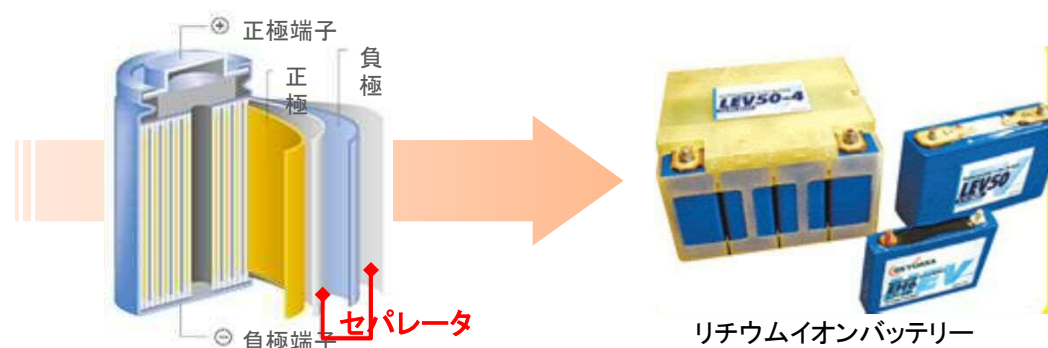
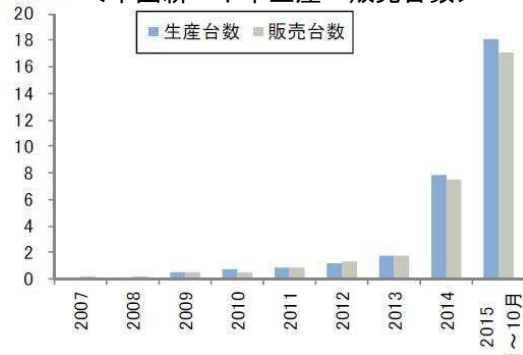
セパレーターフィルムとは？

リチウムイオンバッテリーの主要部材の1つであり、
正極と負極を絶縁するごく薄い樹脂フィルム。

今後の需要動向は？

- ・ 中国では国策として自動車のEV化を進めており、2020年までに新エネルギー車（EV、PHV、FCV含む）の販売累計500万台の目標を掲げる。（2015年の販売台数：約19万台）
- ・ リチウムイオンバッテリーの需要も拡大が続く見込み。

（万台） <中国新エネ車生産・販売台数>



リチウムイオンバッテリー

リチウムイオンバッテリー用 セパレーターフィルム製造設備（その2）

当社の動き

- 2016年3月期に約180億円に及ぶ商談を受注。
- 上半期に約60億円の商談を新規受注。
- 下半期も前年度以上の受注を目指す。
- 周辺設備や原材料の開拓に注力し、収益拡大を推進中。



配当政策

配当政策：営業・財務両面にわたる効率的な業務運営により、経営基盤の強化を図るとともに、新しい事業の開発等の資金需要に対応しながら、連結配当性向35%を目途とする。

■ 1株あたり期末配当実績

2014年3月期： 7円	(配当性向：35.8%	総還元性向：88%)
2015年3月期：11円	(配当性向：34.7%	総還元性向：35%)
2016年3月期： 9円	(配当性向：35.1%	総還元性向：69%)

自己株式の取得状況

2016年10月末現在



平成28年11月1日

上場会社名 西華産業株式会社
代表者 代表取締役社長 齋田和隆
(コード番号 8061 東証第1部)
問合せ先責任者 取締役 常務執行役員
管理本部長 山下 眞佐明
(TEL 03-5221-7101)

- 取得期間 : 2016年5月16日～2017年3月17日
- 取得しうる株式総数 : 200万株 (上限)
- 株式の取得価額の総額 : 7億円 (上限)
- 取得した株式の総数 : 1,096千株
- 株式の取得価額の総額 : 293,309千円

自己株式の取得状況に関するお知らせ

(会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき決議いたしました自己株式の取得に関して、下記のとおり実施いたしましたので取得状況をお知らせいたします。

記

1. 取得期間	平成28年10月1日から平成28年10月31日まで(約定ベース)
2. 取得した株式の総数	0株
3. 株式の取得価額の総額	0円

(ご参考)

1. 平成28年5月13日開催の取締役会決議内容
 - (1) 取得の方法 市場買付け
 - (2) 取得対象株式の種類 当社普通株式
 - (3) 取得しうる株式の総数 2,000,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.98%)
 - (4) 株式の取得価額の総額 700百万円(上限)
 - (5) 取得期間 平成28年5月16日～平成29年3月17日
2. 上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計(平成28年10月31日現在)
 - (1) 取得した株式の総数 1,096,000株
 - (2) 株式の取得価額の総額 293,309,000円

以 上



役員報酬制度の改定

2016年6月より役員退職慰労金制度を廃止し、
株式報酬型ストック・オプションを導入
企業業績向上へのインセンティブ効果や
株主重視の経営意識をより高めることを目的とする。

H28年10月24日付 日経新聞（朝刊）

＜取締役・執行役員報酬体系＞

- ・ 固定報酬
 - ・ 役員賞与（短期の業績連動）
 - ・ 株式報酬型ストック・オプション
（中長期の業績連動）
- * 社外取締役、監査役を除く

株式報酬高め 役員挑戦促す

株主を意識した企業統治（ガバナンス）を見直す上場企業が増えている。核心は、経営者をいかに動かすか。中長期にわたるため、株式報酬の比率を高める例が目立つ。迎企業にない、社会貢献の姿勢を世に問う報酬を用いる発想も求められる。

「中長期的な企業価値増大を意図していた。ただ、医薬品国内トップの武田薬品工業は6月の株主総会で、社外取締役や監査役委員（従来の監査役に相当する取締役）に、固定報酬の1割を上乗せして新たに株式報酬を給付すると決議した。

同社は2008年、役員退職慰労金を廃止。14年には社内取締役の報酬を固定部分1に対し、変動部分が1.5の幅で増減する「架束グローバル水俣の制度を導入した」（長谷川剛史会長）。

変動部分は、単年度の連結業績に連動する賞与

中長期の視野で成長狙う

成。に。七。に。連。成。超。が。7。を。に。直。防。る。ず。だ。に。式。に。ば。



ご清聴ありがとうございました

将来の予測に関する注意事項：

本資料にて開示されておりますデータ及び将来に関する予測につきましては、本日現在入手可能な情報に基づくものであり、予測不能、若しくは不確定な要因により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

IRに関するお問い合わせ先

西華産業株式会社 経営企画本部 企画部

Tel 03-5221-7117 Fax 03-5221-7130

E-mail: SMB002@jp.seika.com